

# 平成27年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：イネ・いもち病（No. 8）

平成27年8月12日  
鳥取県病害虫防除所

## 1 情報の内容

梅雨明以降、高温条件で経過しており、今後も平年と同様に晴れの日が多く、平均気温は平年並から高いと予想され、本病の発生に助長的ではない。しかし、中生品種が出穂を迎える時期となっており、山間地等の葉いもち多発ほ場では、穂いもちの発生が懸念される。そのため、穂ばらみ期および穂揃い期の防除を徹底する必要がある。

## 2 発生状況等

- (1) 山間地等の常発地および一部の平坦地において、葉いもちが散見されており、極一部ではあるが、ずり込みほ場も確認されている。
- (2) ブラストムによる葉いもちの感染好適日又は準感染好適日は、7月28日に広域で出現したが、その後は認められていない（表1）。
- (3) 8月6日発表の気象1か月予報によると、平年と同様に晴れの日が多く、平均気温は平年並または高い確率ともに40%と予想されている。
- (4) 今後の気象は、本病の発生に助長的ではないが、中生品種が出穂を迎える時期となっており、山間地等の葉いもち多発生ほ場では、穂いもちの発生が懸念されることから、穂ばらみ期および穂揃い期の防除を徹底する必要がある。

表1 ブラストムによる感染好適日の出現状況

日付	鳥取	青谷	岩井	智頭	倉吉	塩津	米子	境	茶屋
7/27	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/28	○	—	—	○	—	—	—	—	—
7/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/30	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/31	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/3	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/5	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/7	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/8	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/9	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注) ●感染好適日、○準感染好適日

## 3 防除上注意すべき事項

- (1) きぬむすめ・日本晴等、中生品種栽培ほ場  
穂いもちは発生してからの防除が困難であるため、これから出穂期を迎える品種では、穂ばらみ期および穂揃い期の2回、いもち病単剤またはこれらを含む混合剤の粉剤、水和剤などを用いて防除を徹底する。周辺ほ場でいもち病が発生している場合は特に注意する。降雨が続く場合は、雨の止み間をみて防除を行う。この場合、散布後約3時間経過すれば、降雨の影響は少ない。
- (2) ひとめぼれ・コシヒカリ等、早生品種栽培ほ場  
上位葉における発病が多く、穂いもちの多発生が予想される場合は、傾穂期（穂揃い期の7～10日後）の防除を追加する。
- (3) 防除に当たっては、農薬の使用基準を遵守するとともに、使用上の注意事項を守り、散布作業者の安全の確保に努める。特に、葉いもちの追加防除を行ったほ場では、農薬の総使用回数を超えないよう十分注意して穂いもち防除を行う。
- (4) 本県では、ストロビルリン系薬剤耐性菌が発生しているため、本系統薬剤の使用を控える。